

図23 年齢階級別肥満とるいそうの割合(男)

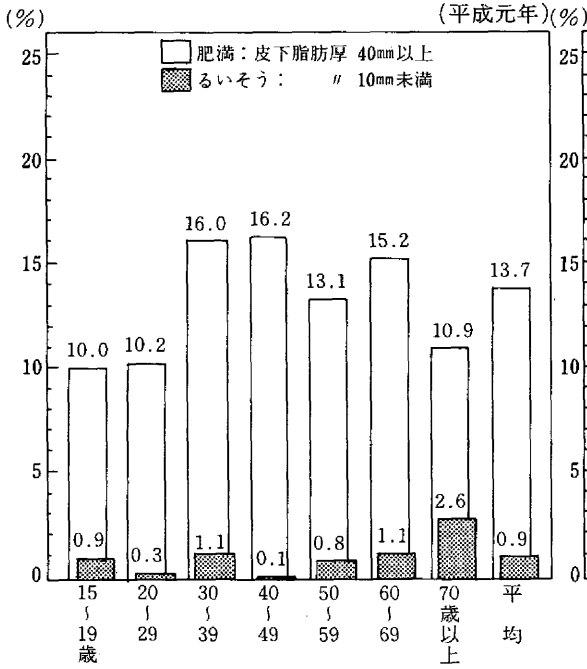


図24 年齢階級別肥満とるいそうの割合(女)

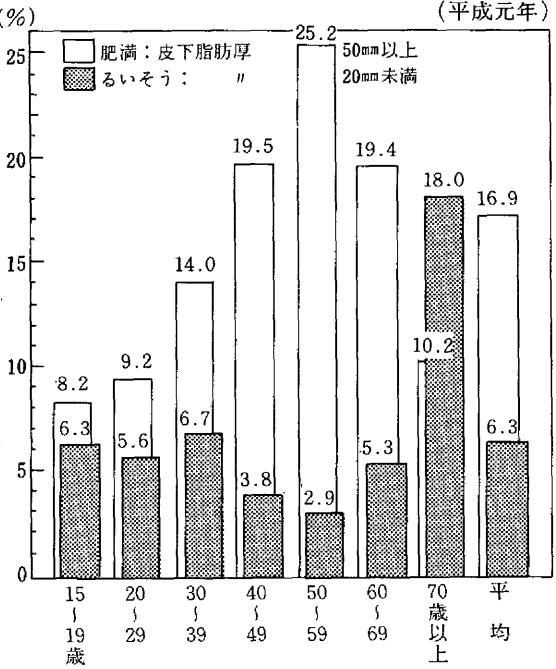
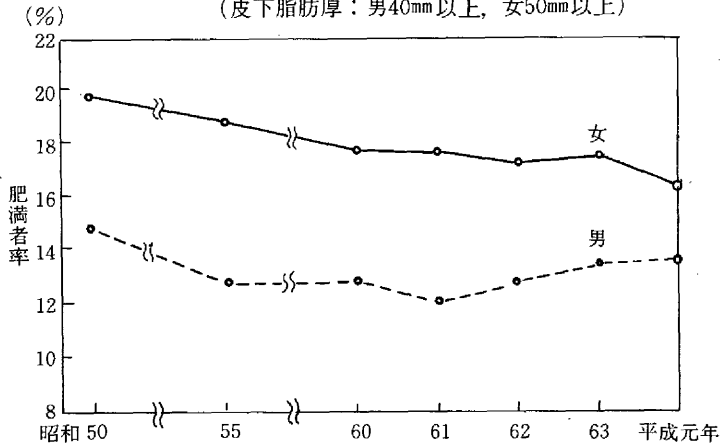


図25 肥満者の年次推移

(皮下脂肪厚：男40mm以上、女50mm以上)



ほぼ横ばいである。

5. 外食の状況

外食について年次推移をみたのが図26であるが、昭和40年には11.3%であったものが増減を繰り返しながらも徐々に増加し、平成元年には18.7%までになっており、男女別にみても同様に増加の傾向がみられる。

また、年齢階級別に推移をみると図27、28のとおり、男女ともに各年代において増加の傾向を示し、

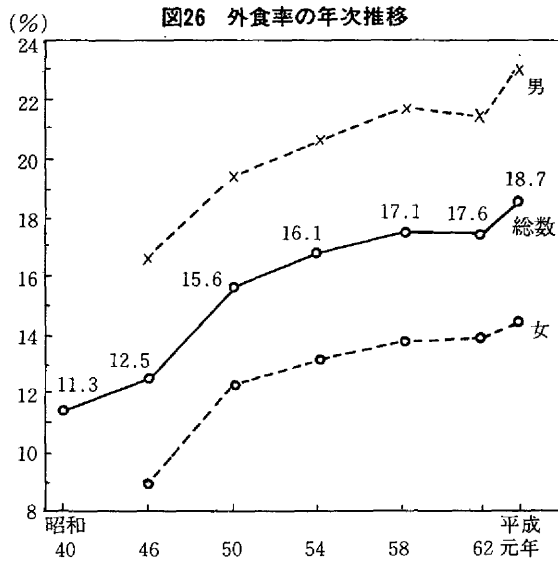


図27 外食率の年次推移(男, 年齢階級別)

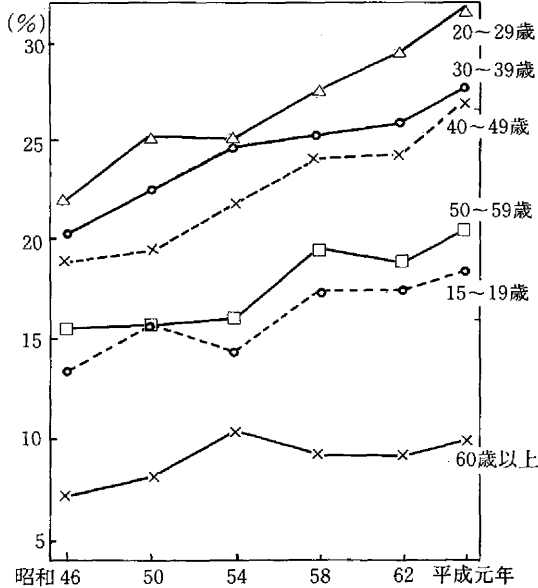
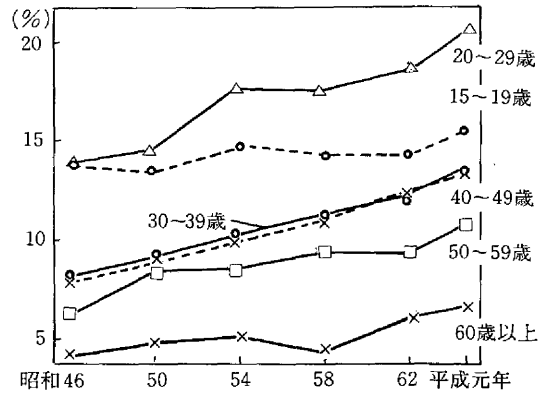


図28 外食率の年次推移(女, 年齢階級別)



特に20~40歳代の伸びが大きい。

6. 食生活状況

食生活状況調査の実施に当たっては事前に調査員が記入要領を説明し、記入してもらった後、回収した。被調査者のうち、満60歳以上の男女を対象として、過去の生活習慣と現在の状況等について質問調査を行った。回収された男性1,293人、女性1,740人、計3,033人の調査結果の概要は次のとおりである。